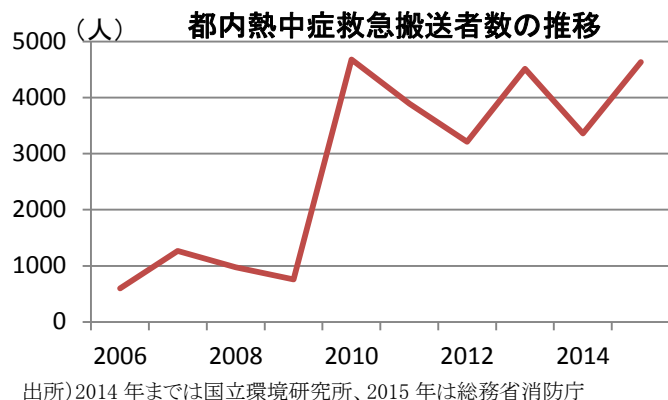


東京の暑さの現状及び推移

○今年7月31日から8月7日までの8日、東京の猛暑日の連続記録(従来4日)を更新

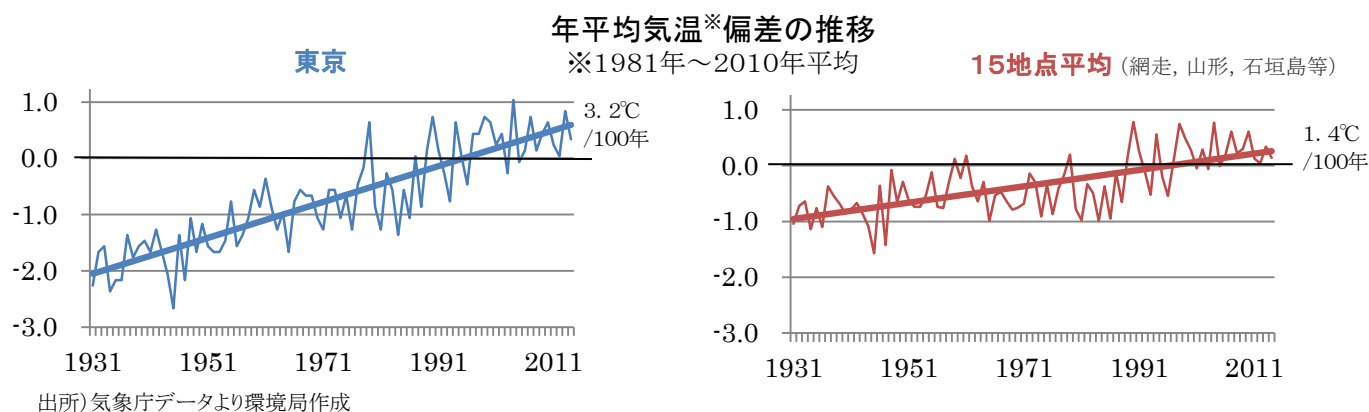
○熱中症による救急搬送者数
2015年5月～9月:4,634人
2010年以降高い水準が続く。



○平均気温の推移

- 東京の平均気温は100年あたり3.2℃のペースで上昇
- 都市化の影響が比較的少ないとみられる国内15地点平均である1.4℃のペースを大きく上回る。

都市に特有の「ヒートアイランド現象」



東京2020に向けた課題認識

➢ ヒートアイランド対策は、平成14年度策定の全庁的方針に基づき、既に関係局の事業に組み込まれ、また、区市町村等による取組も着実に進められているが、近年の気候変動の影響もあり、都市の高温化現象は継続

➢ 開催期間

オリンピック:2020年7月24日～8月9日

パラリンピック:2020年8月25日～9月6日

- 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、「アスリートファースト」の観点から、マラソンコースや競技場における暑さ対策を推進する必要
- 観客や外国人も含めた観光客の熱中症予防も重要な課題

都におけるこれまでの主な取組

(各局における取組例)

遮熱性・保水性舗装(建設局)



樹木の適切な維持・管理(建設局)



ドライ型ミストの導入(建設局)



熱中症の予防(福祉保健局・東京消防庁)



(今年度からの新たな取組)

クールスポット創出支援事業(環境局)

事業の背景・目的

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、観客や観光客への暑さ対策が重要な課題であることを踏まえ、暑熱対応設備の設置を支援し、クールスポットの創出を促進

補助制度の概要

<補助対象者> 区市町村・事業者(法人・個人)

<補助対象設備>

- 人が自由に入出りできる既存施設・空間に設置する暑熱対応設備
- 対象設備(例):ドライ型ミスト、散水設備、庇(ひさし)等

<補助額> 設置に要する経費の2分の1(上限5,000千円)

<予算額> 50,000千円 <事業開始> 平成27年度～